

2026年9月30日

小田原市郷土文化館刊行物のご案内

小田原市郷土文化館では、特別展の図録や小田原市郷土文化館研究報告等の刊行物を販売しています。
これらの刊行物は、小田原市内の図書館などの教育施設のほか、国会図書館などの国立図書館・博物館・神奈川県内の図書館・博物館などで閲覧することができます。
小田原の郷土史研究の一助に是非ご活用ください。

内容・購入に関するお問い合わせ

小田原市郷土文化館 〒250-0014 神奈川県小田原市城内7-8
TEL：0465-23-1377 FAX：0465-23-0672
時間：午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）

※刊行物は、小田原市郷土文化館受付及び分館松永記念館受付で取り扱っています。

※郵送によるご購入をご希望の方は、氏名・送付先住所・電話番号・希望刊行物名・冊数をご記入の上、刊行物の合計代金を現金書留で小田原市郷土文化館へお送りください。

※重さ1kgまでであれば送料着払い（ゆうパケット）での発送になります。受取時に送料及び着払い手数料をお支払いください。

展示図録

書名	刊行年	価格	寸法				重量
			長辺 (cm)A	短辺 (cm)B	厚さ (cm)C	A+B+C	
生誕120年記念特別展示 横田七郎—彫刻と版画と—	2025年	2,000円	29.7	21	0.5	51.2	300 g
耳庵生誕150年記念企画展 松永耳庵が伊豆堂ヶ島に建てた別荘	2025年	100円	29.7	21	0.1	50.8	40 g
令和6年度小田原市郷土文化館企画展 学校に眠るお宝展	2024年	100円	29.7	21	0.1	50.8	40g
弥生の大集落 中里遺跡—くらしを変えた東西の出会い—	2021年	1,600円	29.7	21	0.5	51.2	280 g
受贈記念特別展 近藤弘明—幻華—	2021年	1,600円	29.7	21	0.5	51.2	320 g
松永記念館設立60周年記念特別展 お茶をする、遊ぶ、生活する—耳庵が愛した記念館—	2020年	800円	29.7	21	0.2	50.9	200 g
小田原市郷土文化館常設展示ガイド 小田原の歴史と民俗	2021年	※販売終了					

特別展 生誕450年記念 風外慧薫—洞窟暮らしの禅画僧—	2018年	800円	29.7	18.2	0.4	44.3	310 g
特別展 益田鈍翁と横井夜雨	2017年	1,000円	25.7	18.2	0.6	51.2	260 g
耳庵 松永安左エ門	2015年	500円	21	14.7	0.6	44.5	160 g
特別展 富士と対峙した孤高の画家 佐藤大寛展	2014年	※販売終了					
受贈記念特別展 井上三綱—入生田のアトリエから—	2012年	800円	29.7	21	0.5	51.2	290 g
特別展 没後70年 野崎幻庵と小田原	2011年	900円	29.7	21	0.4	51.1	260 g
市制施行70周年記念特別展 都市おだわらの創生	2010年	800円	29.7	21	0.7	51.4	390 g
松永記念館設立50周年記念特別展 松永耳庵と老櫓荘	2009年	※販売終了					
特別展 生誕160周年益田鈍翁の記憶—小田原掃雲台の光影—	2008年	※販売終了					
特別展 出土品が語る小田原の歴史 悠久の美	2007年	700円	29.7	21	0.5	51.2	310 g
特別展 茶人の書—松永耳庵と数奇者たち—	2005年	※販売終了					
特別展 縄文の技と美 羽根尾貝塚にみる人々の生活と文化	2004年	※販売終了					
特別展 収蔵画展—小田原彩った顔—	2003年	500円	29.7	21	0.5	51.2	255 g
特別展 小田原の近世絵馬	2002年	700円	24.8	24.5	0.5	51.2	310 g
朝井閑右衛門展～画家と文人の集った街から～	1995年	1300円	27	22	0.3	49.3	225 g
戸張弧雁 その彫刻と小田原	1994年	1000円	24.8	24.5	0.4	49.7	275 g
特別展 曾我兄弟仇討ち800年記念 浮世絵に見る曾我物語展	1993年	1500円	25	24.5	0.5	50	305 g
特別展 日本の色絵 柿右衛門の優雅な世界	1993年	1400円	25	24	0.5	49.5	300g
特別展 明治・大正・昭和の小田原文化人展 —小田原ゆかりの人々・その美術工芸と筆跡—	1990年	1000円	25.7	18.2	0.6	44.5	305g
特別展 岡本秋暉展	1981年	500円	25.7	18.2	0.2	44.1	105 g

小田原市郷土文化館研究報告

No.	内容	刊行年	価格	寸法				重量
				長辺 (cm)A	短辺 (cm)B	厚さ (cm)C	A+B+C	
62	・久野丘陵の古墳研究（1） —昭和期に出土した副葬品を後世に伝える資料化と現代的視点での評価—（久野丘陵古墳研究会） ・千代条理の展開（2）（岡本孝之） ・小田原北条氏文書補遺（三）（黒田基樹） ・「石切図屏風」に描かれた採石丁場の特定について（渡部 猛） ・小田原地方の奉安庫と奉安殿（井上弘） ・令和6年度の活動	2026年	1000円	29.7	21	0.5	51.2	250g
61	・小田原市郷土文化館所蔵の縄文土器について（鈴木陽磨・土屋健作） ・久野丘陵における方形周溝墓集成（吉野文彬） ・千代条理の展開（1）（岡本孝之） ・北条氏直の娘—宝塚市妙玄寺の緑了院殿肖像画と京都市本教寺の摩尼珠院殿位牌について—（芹澤香代子） ・小田原古式消防調査概報（保坂匠） ・新たに発見された上原重雄関係資料について（神奈川県立足柄高等学校歴史研究部） ・【活動報告】小田原の石造物を調べる会 ・【活動報告】一昔前の小田原風景写真を整理する会 ・令和5年度の活動	2025年	1000円	29.7	21	0.4	51.1	240 g

60	・【研究ノート】記録からみた田島人形―活動と衰退の時期をめぐって（三上芳範） ・【資料紹介】関東大震災 寒ノ目山トンネル事故関係資料―熱海線機関士・尾崎道太郎資料について―（田中里奈） おだわらデジタルミュージアム特集 ・小田原郷土文化館所蔵の日産水産研究所旧蔵魚類標本およびその歴史的価値（瀬能宏） ・海藻の同定作業（河野えり子） ・「おだわらデジタルミュージアム」の構築とその意義（中村萌・森翔大） ・小田原の宝を世界に発信 おだわらデジタルミュージアム創設について―創設に至る背景と今後の展望―（吉野文彬）	2024年	750円	29.7	21	0.3	51	200g
59	・小田原城三の丸幸田口跡第Ⅵ地点出土の弓胎弓―現代弓師の視点から和弓の歴史と分類を再考する―（加藤康博） ・大井町篠窪に伝わる小島氏旧蔵のニホンオオカミの頭蓋骨について―国立歴史民俗博物館、直良信夫コレクション所蔵資料から―（津田守一） ・神奈川県西部の解散した講の記録―小田原市風祭地区・大井町五の丸地区―（菊田祥子・保坂匠） ・神奈川県に残る浅羽佐喜太郎に関する資料（保坂匠）	2023年	700円	29.7	21	0.3	51	190 g
58	・小田原城三の丸杉浦平太夫邸跡第Ⅴ地点出土の瓦について―三葉文軒丸瓦の展開と塀瓦について―（高橋香） ・小田原城下本町遺跡第Ⅷ地点出土のかわらけについて（佐々木健策） ・矢作で出土したかわらけ―矢作上ノ久保遺跡第Ⅰ地点の試掘調査から―（野尻夏姫） ・鳥取氏妙要寺所蔵の北条氏直娘の肖像画について（芹澤香代子） ・開成町南部の鳥類20年間の変遷―環境の変化と鳥類相の変化―（竹内時男）	2022年	700円	29.7	21	0.3	51	200 g

57	・複数の主郭をもつ城-小田原北条氏の領国支配と城郭構造-(佐々木健策) ・石工・香川松之助の仕事と大井町山田の石材(一寸木肇) ・湯河原町の採石丁場跡の現況とその考察(渡部猛) ・中世の採石遺跡からみる石材利用-関東地方を例に-(佐々木健策) ・中里遺跡出土石器の検討-小田原市最新出品展2020「中里遺跡の“弥生的”生活のはじまり」補遺-(土屋了介)	2021年	600円	29.7	21	0.4	51	635 g
56	・柴田常恵と小田原城跡・亀ヶ岡遺跡-柴田常と初期の文化財保護行政、そして蓑虫山人のこと(佐野忠史) ・小田原市石橋所在の佐奈田霊社周辺で採集された縄文時代の遺物(鈴木陽磨、土屋健作) ・小田原市域の稲荷型道祖神に関する覚書-「東海道分間延絵図」と現代の比較-(保坂匠)	2020年	500円	29.7	21	0.3	51	165 g
55	・軍事郵便に見る日本軍兵士の姿-譲原純一郎が家族へ送った軍事郵便から-(井上弘) ・【研究ノート】明治四十年開催の小田原夏期講演会について(坂井飛鳥) ・【資料紹介】小田原藩士渡辺家伝来の中世文書(岡潔)	2019年	500円	29.7	21	0.3	51	165 g
54	・資料紹介「小田原市立図書館所蔵閑院宮資料」続(梶田明宏・白政晶子) ・小田原出身の映画人・廣澤榮(保坂匠)	2018年	500円	29.7	21	0.3	51	170 g
53	・明治二十五年の相模湾西部高潮と沿岸の被災地(後編)-福山金兵衛作「小田原大海嘯全図絵」の歴史的検証-(中根賢) ・資料紹介「小田原市立図書館所蔵閑院宮資料(梶田明宏・白政晶子) ・丸山古香の画業について(白政晶子)	2017年	500円	29.7	21	0.3	51	165g

52	・明治二十五年の相模湾西部高潮と沿岸の被災地（前編）－福山金兵衛作「小田原大海嘯全図絵」の歴史的検証－（中根賢） ・大正時代の政界と小田原－原敬と山縣有朋との関係を中心に－（坂井飛鳥）	2016年	500円	29.7	21	0.3	51	140 g
51	・小田原市久野川流域における弥生時代後期～古墳時代前期の土器の様相（土屋了介） ・小田原市郷土文化館60周年記念特集 小田原市郷土文化館のあゆみ	2015年	500円	29.7	21	0.3	51	155 g
50	・滄浪閣土塁の現況報告－小田原城総構海岸土塁と伊藤博文の小田原滄浪閣跡－（小笠原清） ・小田原北条氏文書補遺（二）（黒田基樹） ・神奈川県西部地域における秋のヒヨドリの渡りについて（日比野義介）	2014年	500円	29.7	21	0.3	51	185 g
49	・小田原用水・地藏堂・松永記念館・内野醤油店・板橋見附－小田原板橋の歴史をあるく－（田代道彌） ・小田原市板橋の内野邸実測調査報告（田中和幸・伊藤香織・羽生修二） ・聞き取り記録「武功醤油」の頃－故内野悦郎さんに聞く－（青木良一） ・庭園をめぐる社会学・序（平井太郎）	2013年	500円	29.7	21	0.3	51	190 g
48	・戦国都市おだわらを支えた人々（伊藤一美） ・松永記念館庭園の石造遺物（斉藤彦司） ・小田原市郷土文化館所蔵「旧国府津村文書」の整理調査について（高木知己）	2012年	500円	29.7	21	0.3	50.9	150 g
47	・後北条氏の本城奉行人 安藤良整の役割（下山治久） ・師長国造領の分割と地域拠点の成立－考古学からみた在地支配と首長層の動向－（田尾誠敏）	2011年	800円	29.7	21	0.3	44.2	135 g
46	- 後北条氏文書に見える「一騎合」の実態（下山治久） ・相模湾における汽船交通史（奥津弘高） ・開成町南部の鳥類10年間の記録（竹内時男）	2010年	800円	29.7	21	0.3	44.2	130 g

45	・戦国期の小田原城-北条氏歴代当主はどこにいたのか-（森幸夫） ・西相模における石塔の加工と変遷（佐々木健策） ・陶磁器にみる小田原の近代（北條ゆうこ）	2009年	800円	25.7	18.2	0.3	44.2	160g
44	・施設紹介 松永邸「老櫓荘」について（浜田和政） ・ヒヨドリの渡りについて（日比野義介）	2008年	※販売終了					
43	・関喜久子の日記にみる維新・変革の位相（宇佐美ミサ子） ・小田原市域における縄文時代遺跡の様相（渡辺千尋） ・資料紹介1 平成18年度指定の小田原市指定重要文化財について（小田原市郷土文化館） ・資料紹介2 松永耳庵書 長岳寺五重塔石塔納入経（岡潔）	2007年	800円	25.7	18.2	0.3	44.2	145 g
42	・小田原考古学のはじまり（岡本孝之） ・小田原北条氏文書補遺（黒田基樹） ・酒匂川河口におけるヒヨドリの渡りについて（その2）（日比野義介）	2006年	800円	25.7	18.2	0.5	44.4	190 g
41	・義民下田隼人をめぐる十の謎（内田清） ・小田原市郷土文化館考古学資料室の設計と展示評価について（平田健） 小田原市郷土文化館50周年記念特集 ・小田原市郷土文化館展覧会開催一覧 本館 郷土文化館分館 松永記念館 ・小田原市郷土文化館研究報告 自然科学編 人文科学編	2005年	800円	25.7	18.2	0.3	44.2	150g
40	・小田原市栢山地区のツバメ類の巣の調査（竹内時男） ・酒匂川河口におけるヒヨドリの渡りについて（日比野義介）	2004年	※販売終了					
39	・小田原藩足軽浅田鉄蔵兄弟の敵討（中根賢） ・北條秀司著作初出年表（千田聡）	2003年	800円	25.7	18.2	0.4	44.3	165 g
38	・小田原・箱根付近の蝶-最近の新知見（波多野連平。神保康明） ・小田原動物園の50年の歩みと現在（二見典克）	2002年	800円	25.7	18.2	0.2	44.1	100 g

37	・足柄・小田原産の江戸城石垣（内田清） ・小田原城八幡古郭出土の旧石器（諏訪間順） ・小田原城出土の灯明具の様相（井上由美子）	2001年	※販売終了
36	・西湘地区の鳥類誌Ⅳ（室伏友三） ・1955年 真鶴に漂着したセマルハコガメ（大類正久）	2000年	※販売終了
35	・千代廃寺院跡の再検討（岡本孝之） ・根府川の民族芸能「鹿島踊り」「福踊り」について（浜田和政） ・資料紹介 史跡石垣山一夜城発見の加藤肥後守銘金石文について	1999年	※販売終了
32	・西湘築の鳥類誌一Ⅲ（室伏友三） ・酒匂川河川敷の注目されるクモについて（池田井博明・神野成章・長谷部勉）	1996年	※販売終了